



丸岡 弘満 議員
(改革未来・自民の風)
(・加西市民の会)



カスハラや侵入者等から 学校・園を守る対策を急げ！

問 現在の防犯カメラ台数で学校の安全が守れるのか。適切な場所に適切な台数を効果的に設置し、校舎・園内への設置も検討する必要がある。

答 防犯カメラ設置について警察からも要望があり、予算の範囲で増やしていきたいと考えます。私立こども園内は全て設置されています。公立園でも設置要望はありますが、小中学校を含めて他市の状況も調査し、慎重に検討します。

問 日本版 DBS は、性犯罪を防止する措置の 1 つとして、

子供に接する仕事に就く人に対して性犯罪歴の確認を義務づける制度だが、その対象は。また、間接的に子供と関わる職種や民間事業者はどうなるのか。

答 学校・園などは公・私立を問いません。また、教員や保育士など正規・非正規を問わず確認が義務づけられます。スクールバス運転手など間接的に関わる職種やスポーツクラブ等の民間事業者も対象ですが、国のガイドラインを基に対応を検討します。

問 保護者からの過剰な苦情、不当要求の対応に苦しんでいる学校、教員がいる。現在の状況やカスハラ対応は。

答 市内の学校でもそのような事案があります。まずは関係者から話を聞いて真摯に向き合い、学校で解決できない場合は教育委員会も加わります。それでも

対応が困難な場合はスクールロイヤーに相談し、法律的なアドバイスを受けます。また、退職した学校長を学校経営アドバイザーに任命し、相談体制を整えています。

問 カスハラの境界線が曖昧なため、教員や学校が保護者対応に苦慮し、教員のストレスや学校とのトラブルが深刻化しやすい。北海道や大分県津久見市は既に対応マニュアルを策定し、東京都教育委員会も対応指針案を出した。境界線を具体化し、教員の心理的負担の軽減や長時間の拘束を防ぎ、長時間労働の是正につなげることが必要ではないか。

答 (教育長) 以前、保護者からの行き過ぎた行為がありました。他市の事例を参考にして、今後ガイドラインを策定し、教員が安心して業務に専念できる体制づくりをしていきます。

閉会中の議会活動報告

各委員会が行政視察を行い、それぞれの所管事務について先進地の事例を学びました。

行政視察（総務常任委員会） 令和 7 年 10 月 23 日～10 月 24 日

◆ 広島県呉市（令和 7 年 10 月 23 日（木）13：30～15：00）

＜視察項目：子育て支援事業の Web 申請化事業について＞

子育て関連手続のデジタル化により、放課後児童会（学童保育所）、児童手当、乳幼児等医療費助成、保育所等入所申請などをオンライン化し、スマホなどで手続を完結させる取組を進めている。この Web 申請により、申請手続のために 3 回来庁されるところを 1 回に軽減することができ、保護者や市民の負担軽減が図られ評価が高まっている。

◆ 山口県周南市（令和 7 年 10 月 24 日（金）9：30～11：00）

＜視察項目：部活動の地域移行について＞

従来の学校主体の「学校部活動」を廃止し、新たに周南市文化振興財団や市スポーツ協会が設置する「かるちゃあサポートセンター」「スポーツ活動サポートセンター」を事務局とする文化芸術・スポーツ団体や学校、地域住民、行政等が一体的に取り組む体制への移行を図られている。この部活動の地域移行は中学生が生涯にわたり、文化芸術・スポーツ活動等に継続して親しみ楽しむことができる機会の創出にもつながっている。

